

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 3 月 7 日作成)

小委員会名	2016 年熊本地震基礎構造被害検討小委員会		主 査 名：土方勝一郎 就任年月：2018 年 8 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：土方勝一郎
設 置 期 間	2018 年 8 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2016 年熊本地震での基礎構造被害状況の調査・分析を行い、今後の基礎構造の一層の安全性を確保するため知見を後世に残すことを目的とする。  初年度：東海大学阿蘇キャンパスでの基礎構造被害の現地調査 2 年度：被害調査結果の詳細な分析 3 年度：被害原因の解析等による検討，大会等での発表		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：土方勝一郎 (芝浦工業大学) 幹事：関口徹 (千葉大学) 委員：柏尚稔 (国土技術政策総合研究所)，金澤健司 (電力中央研究所)，久世直哉 (ベターリビング)，河野進 (東京工業大学)，杉山太宏 (東海大学)，鈴木比呂子 (千葉工業大学)，田村修次 (東京工業大学)，時松孝次 (東京ソイルリサーチ)，西村康志郎 (東京工業大学)，東貞成 (電力中央研究所)，大和由佳 (清水建設)，渡辺佳勝 (トラバース)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 東海大学阿蘇キャンパスの基礎構造被害の現地調査を行い，詳細な被害状況についての知見が得られた。
委員会活動の問題点・課題	1. 建物形状や地表面断層が複雑であるため，被害の原因やメカニズムの解明が難解であること。